

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【公開番号】特開 2018-38725 (P2018-38725A)

【公開日】平成 30 年 3 月 15 日 (2018.3.15)

【年通号数】公開・登録公報 2018-010

【出願番号】特願 2016-176450 (P2016-176450)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 29 日 (2019.7.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抽選契機を満たすことで抽選を行い、抽選結果に基づいて利益を付与可能な遊技機において、

前記遊技機は、

前記抽選結果に対応する抽選結果信号を送信する主制御手段と、

前記主制御手段から送信される前記抽選結果信号を受信して演出制御の内容を決定し、
決定した演出制御の内容に対応する演出制御信号を第 1 の通信形態で送信する副制御手段と、

前記副制御手段から前記演出制御信号を受信して演出制御を行う複数の演出制御手段と、
を備え、

前記複数の演出制御手段には、前記副制御手段から送信される前記第 1 の通信形態の演出制御信号を受信して演出制御を行うことが可能であるとともに、前記演出制御信号を第 2 の通信形態の演出制御信号に変換して送信することが可能である第 1 の演出制御手段と、前記第 1 の演出制御手段から第 2 の通信形態で送信される前記演出制御信号を受信して演出制御を行うことが可能である第 2 の演出制御手段とを含み、

前記第 1 の演出制御手段及び前記第 2 の演出制御手段は、

前記演出制御信号を受信するための入力部に繋がって前記第 1 の通信形態の信号を受信することができる第 1 の入力手段と、

前記入力部に繋がって前記第 2 の通信形態の信号を受信することができる第 2 入力手段と、

第 1 の入力手段と第 2 の入力手段の作動を切替え設定するための第 3 の入力手段と、
を有し、

前記第 1 の演出制御手段においては、前記第 3 の入力手段により前記第 1 の入力手段を作動させて前記副制御手段から前記第 1 の通信形態の演出制御信号を受信し、

前記第 2 の演出制御手段においては、前記第 3 の入力手段により前記第 2 の入力手段を作動させて前記第 1 の演出制御手段から前記第 2 の通信形態の演出制御信号を受信するように構成され、

前記副制御手段は、前記複数の演出制御手段の少なくとも 1 つの前記演出制御手段を経由して、前記複数の演出制御手段に前記演出制御信号を送信可能であることを特徴とする、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

このような目的達成のために、本発明に係る遊技機は、抽選契機を満たすことで抽選を行い、抽選結果に基づいて利益を付与可能な遊技機において、遊技機は、抽選結果に対応する抽選結果信号を送信する主制御手段（例えば、実施形態の主制御基板 6 0、メイン CPU 6 1、主制御基板 2 0 0、メイン CPU 2 0 1、制御装置 C D）と、主制御手段から送信される抽選結果信号を受信して演出制御情報の内容を決定し、決定した演出制御情報の内容に対応する演出制御信号を第 1 の通信形態で送信する副制御手段（例えば、実施形態のサブメイン制御基板 7 0 A、サブメイン CPU 7 1、演出制御基板 3 0 0、サブメイン CPU 3 0 1、制御装置 C D）と、副制御手段から演出制御情報を受信して演出制御を行う複数の演出制御手段（例えば、実施形態の LED 制御回路 L C）と、を備え、複数の演出制御手段には、副制御手段から送信される第 1 の通信形態（例えば、実施形態の I 2 C バス、3 線シリアルインターフェイス、標準シリアルインターフェイス）の演出制御信号を受信して演出制御を行うことが可能であるとともに、演出制御信号を第 2 の通信形態（例えば、実施形態の L V D S インターフェイス）の信号に変換して送信することが可能である第 1 の演出制御手段と、第 1 の演出制御信号から第 2 の通信形態で送信される演出制御信号を受信して演出制御を行うことが可能である第 2 の演出制御手段とを含み、第 1 の演出制御手段及び第 2 の演出制御手段は、演出制御信号を受信するための入力部に繋がって第 1 の通信形態の信号を受信することができる第 1 の入力手段（例えば、実施形態の入力回路 I C 1、I C 2、I C 2）と、入力部に繋がって第 2 の通信形態の信号を受信することができる第 2 入力手段（例えば、実施形態の差動入力回路 D I C 1、D I C 2）と、第 1 の入力手段と第 2 の入力手段の作動を切替え設定するための第 3 の入力手段（例えば、実施形態のモード指定端子 M O D E）と、を有し、第 1 の演出制御手段においては、第 3 の入力手段により第 1 の入力手段を作動させて副制御手段から第 1 の通信形態の演出制御信号を受信し、第 2 の演出制御手段においては、第 3 の入力手段により第 2 の入力手段を作動させて第 1 の演出制御手段から第 2 の通信形態の演出制御信号を受信するように構成され、副制御手段は、複数の演出制御手段の少なくとも 1 つの演出制御手段を経由して、複数の演出制御手段に演出制御信号を送信可能であることを特徴とする。